

## 2024年夏季ボーナス支給動向

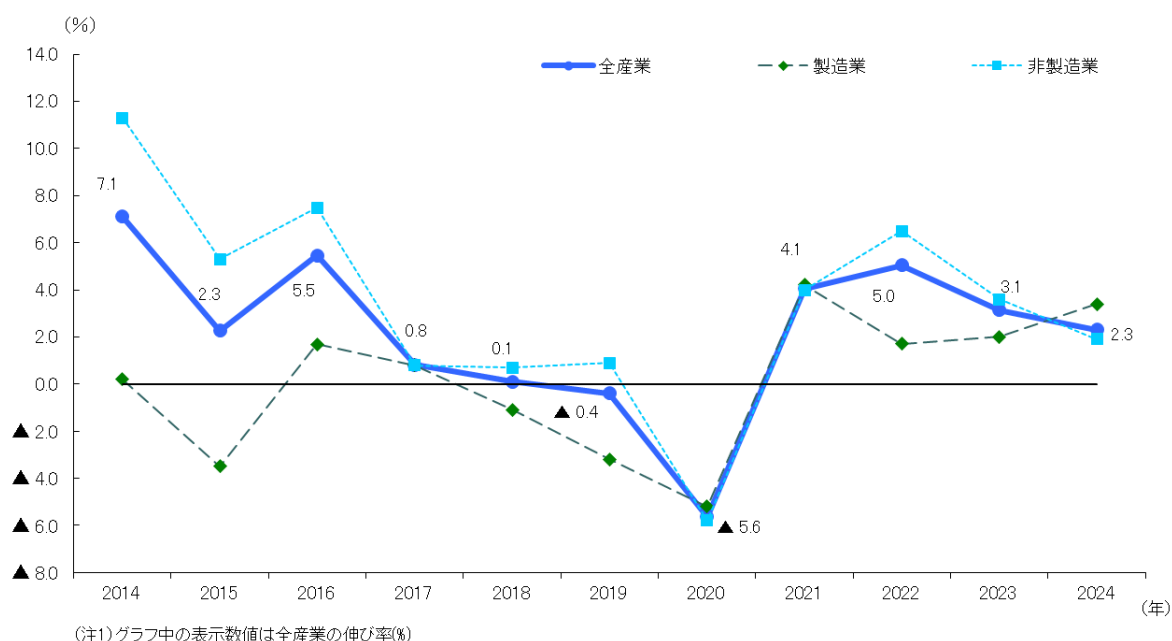
### 支給額2.3%増で4年連続のプラス

県内民間企業の2024年夏季ボーナス支給に関するアンケート調査(企業単純平均、平均年齢44.9歳)によると、平均ボーナス支給額は、372,100円(+8,300円)、増減率2.3%(前年同調査3.1%)と伸びは鈍化したものの、4年連続のプラスとなった。

ボーナス支給額の増減を企業割合(社数構成比)で見ると(2頁)、増加した企業割合・減少した企業割合ともに減少し、横ばいの企業割合が増加した。従業員規模別では(3頁)、1~29人規模の支給増減率が▲0.1%と4年ぶりにマイナスに転じた。賃上げと連動してボーナスも増額する動きがあった一方、一部の企業では賃上げを優先し賞与を据え置く動きがみられるなど、企業間で対応が分かれた。

※支給額は、今回調査で有効回答を得た156社の回答を基に、従業員数を考慮しない単純平均で算出。

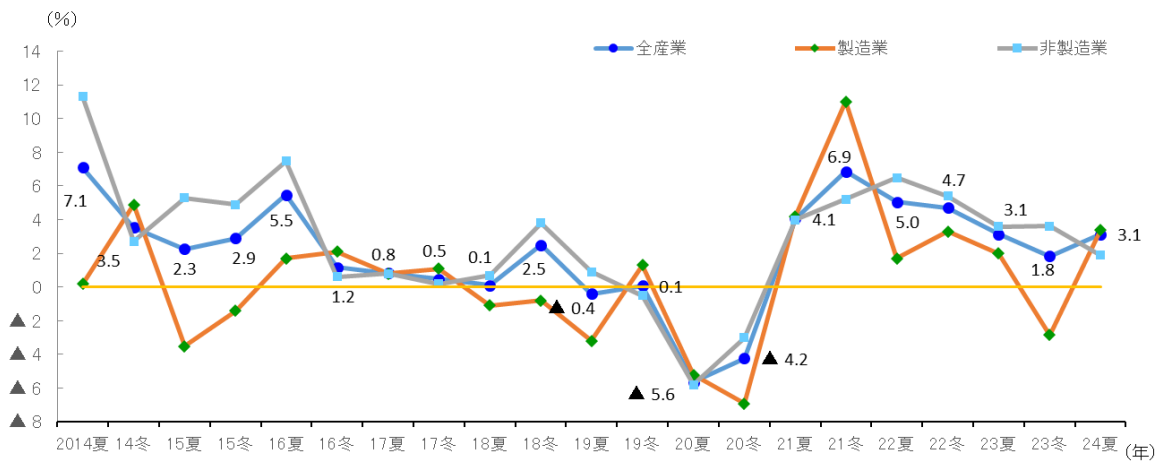
夏季ボーナス伸び率の推移



## 支給額増減における企業割合の推移

	増 加	横 ば い	減 少	「増加」-「減少」
2020年夏季	30.4	19.6	50.0	▲ 19.6
2021年夏季	56.9	20.2	22.9	34.0
2022年夏季	65.4	13.5	21.2	44.2
2023年夏季	55.3	20.4	24.3	31.0
2024年夏季	53.2	23.1	23.7	29.5

### < 参 考 > 【夏季・冬季合算】ボーナス伸び率の推移



(注) グラフ中の表示数値は全産業の伸び率(%)

## 製造業・非製造業別支給動向

製造業（有効回答45社、平均年齢43.5歳）の平均支給額は、前年と比較すると、373,600円（+12,200円）、増減率3.4%（前年同調査比2.0%）と4年連続のプラスとなり額・率ともに上回った。支給額増減の企業割合も、増加先が減少先を4年連続で上回った。業種別では、金属製品製造業や化学工業、食料品製造業、窯業・土石製品製造業など幅広い業種で増加し、一般機械製造業などで減少した。

非製造業（有効回答111社、平均年齢45.5歳）の平均支給額は、前年と比較すると、371,400円（+6,700円）、増減率1.9%（同3.6%）と伸びは鈍化したものの、4年連続でプラスとなった。支給額増減の企業割合も、増加先が減少先を4年連続で上回った。業種別では、運輸業、不動産業などで増加し、建設業や小売業の一部で減少するなど企業によってバラつきがみられた。

### 業種別の支給額動向(企業平均)

業種	回答社数	支給額(千円, %)				構成比(%)		
		本年	前年	前年差	前年比	増加	横ばい	減少
製造業	45	373.6	361.4	12.2	3.4	60.0	20.0	20.0
非製造業	111	371.4	364.7	6.7	1.9	50.5	24.3	25.2
全産業	156	372.0	363.7	8.3	2.3	53.2	23.1	23.7

(注)従業員数を考慮しない単純平均で算出。

### <参考> 昨冬の業種別支給額動向(企業平均)

業種	回答社数	支給額(千円、前年比は%)				構成比(%)		
		本年	前年	前年差	前年比	増加	横ばい	減少
製造業	40	371.4	382.2	▲ 10.9	▲ 2.8	45.0	12.5	42.5
非製造業	110	383.5	370.1	13.4	3.6	57.3	22.7	20.0
全産業	150	380.2	373.3	6.9	1.8	54.0	20.0	26.0

### 従業員規模別支給動向

従業員規模別にみると、30～99人、100人以上の階層において支給額が前年を上回った。1～29人の階層は支給額増減率が▲0.1%と、4年ぶりに前年を下回り、一部の企業での大幅な減額など個別要因が見受けられた。

次に、支給額増減の企業割合(構成比)をみると、全ての階層で増加先が減少先を上回った。中でも30～99人、100人以上の階層においては増加先の構成比が6割以上と、高い水準を維持している。

### 従業員規模別の支給額動向(企業平均)

従業員規模	回答社数	支給額(千円, %)				構成比(%)		
		本年	前年	前年差	前年比	増加	横ばい	減少
1～29人	66	267.5	267.7	▲ 0.2	▲ 0.1	39.4	34.8	25.8
30～99人	50	397.5	382.7	14.7	3.9	62.0	18.0	20.0
100人以上	40	512.8	498.4	14.4	2.9	65.0	10.0	25.0
全規模	156	372.1	363.7	8.3	2.3	53.2	23.1	23.7

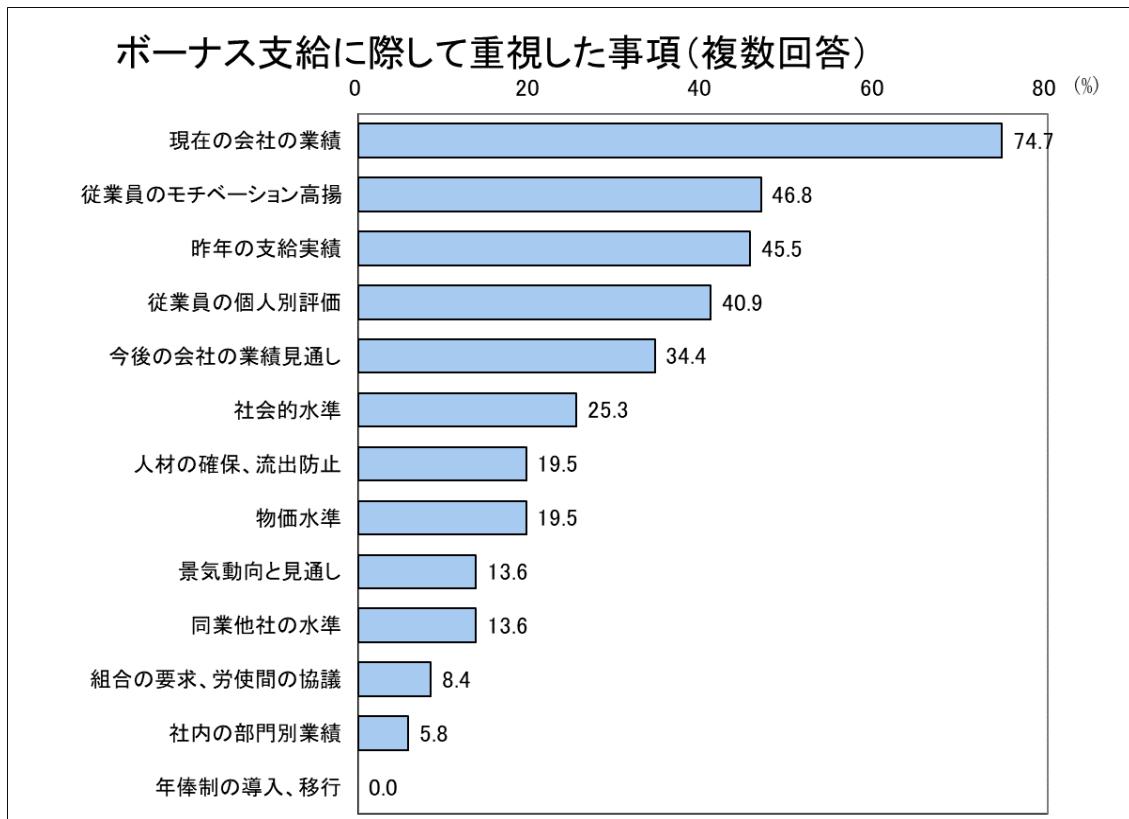
### <参考> ボーナス支給(予定)時期

支給時期	5月	6月			7月			8月			9月	未定 不支給	合計
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
構成比(%)	1.3	5.1	12.1	12.8	14.1	21.2	11.5	12.2	2.6	0.6	1.9	4.5	100.0
		30.0			46.8			15.4					

## ボーナス支給における重視事項

ボーナス支給に際して重視した事項（有効回答154社、回答数536、平均回答数3.5）をみると、例年同様「現在の会社の業績」が74.7%（前年同調査81.1%）と最も高く、いわゆる業績連動型の支給が広く浸透している。「昨年の支給実績」は45.5%（同45.9%）、「従業員の個人別評価」は40.9%（同41.2%）と引き続き上位4事項に入った。

「従業員のモチベーション高揚」は46.8%（同43.2%）と、同項目の調査を開始した2004年以降、数値・順位ともに最も高い2位（同3位）となった。「物価水準」も19.5%（同18.2%）と、2年連続で最高値を更新した。人手不足や物価上昇を背景に、労働力の確保のため従業員に配慮する動きが強まったとみられる。



### — 調査要領 —

調査時期	2024年7月
調査方法	所定の調査票によるアンケート方式
調査対象	県内主要企業 401社
有効回答	156社

※2023年夏季調査より調査対象企業を拡大。2022年夏季以前より中小企業が占める割合が高くなっているため比較には注意が必要。